

同じ林も夏の間に何處も足とほこして
 木にわたるもみつけた。
 木を林にむくむくして、目的を掲げて
 林を歩くことに、春に見つけた花に
 夏が来ていたり、行くたびに何かの種や葉、
 虫や木を手に感じてきた。
 ナブラゼミをみつけたときは、驚きと喜びで
 さんざん、足はとてつとつと、撮るの
 が、木をいふと、うすく、林の中は、
 行くも、しれず、
 近くに、こんな、すてきな、林が、あつた、な、て。
 すぐ、その、身、前、の、自然、と、多く、ま、わ、り、を、つ、く、
 ことが、あつた、と、い、ふ、こ、と、を、
 子、ども、たち、から、'さ、や、う、松、が、な、へ、行、く、と、'
 話、を、き、き、に、な、り、ま、し、た、。'さ、'に、刺、さ、れ、て、
 て、い、い、か、。又、又、又、に、刺、さ、れ、な、て、ま、か、つ、た、と、
 二、部、市、が、管、理、す、る、別、に、別、の、林、に、ま、
 緑、の、林、に、関、心、も、あ、り、ま、す、。以、前、の、林、の、行、く、も、
 新、緑、の、林、と、は、わ、か、ら、れ、な、い、。そ、の、こ、ろ、に、
 花、の、種、は、な、く、。野、鳥、と、樹、木、の、日、々、の、
 下、面、の、空、は、澄、み、透、り、ま、す、。下、界、の、
 木、は、青、い、。空、は、青、い、。空、は、青、い、。
 と、い、う、と、す、て、な、い、。根、を、た、た、き、
 ぐ、い、て、目、を、た、た、き、。通、り、か、た、
 見、え、な、い、。見、え、な、い、。見、え、な、い、。

千葉県 谷口貞夫さん

林には何度も足を運んで、いろいろな発見をされ、そのようすをお知らせくださいました。これからも自然へ愛情を持って接していただきたいと思います。

青森県 八戸市立種差小学校のみなさん
 4年生22人で調査に参加していただきました。



この地域に暮らして15年たちますが、今年初めてクマゼミの鳴き声を聞きました。普段聞きなれているアブラゼミ、ミンミンゼミの鳴き声よりも格段にうるさい鳴き声でしたので私にもわかりました。今回の調査は子供の夏休みの自由研究の題材にもなりました。都会の遊びスポットのような地域にしては、かなり緑があることに、あらためて気づかされました。

東京都 太田夕紀子さん

東京ではその鳴き声や姿を見ることが珍しいクマゼミの情報をお寄せくださいました。

今回も身近な生きもの調査に参加させていただきありがとうございました。ドングリにこんなにたくさん種類があるなんて全然知らなかつたです。日頃なにげなく見ていたことだけに驚かされました。赤い実に関してもこんなに真剣に図鑑を調べたのは何十年ぶりでしょう。子供のころにもとったみたいでした。

岡山県 平西文字子さん

図鑑で確認したりして、熱心に調査していただいたようで、嬉しく思います。



谷津山とその周辺で見られるタンポポの仲間

在来タンポポ	外来タンポポ
<p>谷津山で見られるタンポポの多くは、東海地方に分布する在来種のトウカイトンポポです。在来種のタンポポは、総苞片がそりかえりません。</p>  <p>トウカイトンポポは、総苞片の先にある角状の突起が大きくてよく目立ちます。</p> 	<p>セイヨウタンポポの花</p> <p>外来タンポポには、セイヨウタンポポとアカミタンポポの2種がありますが、いづれも、谷津山周辺の道路ぎわなどで、みられません。</p>  <p>外来タンポポは、総苞片がそりかえっています。</p> 
<p>シロバナタンポポは、西日本に分布する在来種です。</p> 	<p>ミルクコーヒー色をしたセイヨウタンポポの実</p>  <p>レンガ色をしたアカミタンポポの実</p> 

静岡県 谷津山自然観察会 小林恵子さん

地域の「谷津山の自然」について郵便局で展示した時の資料をお寄せいただきました。春夏調査のたびきを参考にタンポポの特徴を上手く写真で表現されています。

早淵の森緑地は、私のとても好きな森の1つです。残念ながら赤い実はありませんでしたが、クヌギは毎年たくさんの実がなつて、私どもに多くの恵みを提供してくれます。風の強い日はコナラの実がばらばらと雨のように落ちてきます。私は仲間といっしょに、自然工作の一部として使わせてもらっています。このような森が多くの人の手で守られていくことを願っています。

東京都 環境学習研究会 秋山榮子さん

ドングリがたくさんある調査地のようすをお知らせくださいました。



茨城県 金岡良夫さん

アブラゼミが羽化するまでのかなりの時間がかかったのでしょうか。生命の神秘を感じます。